

## 第4回 侵食集中対策箇所編－意見交換会でいただいた主なご意見

### <四谷上流地区について>



自分の住んでいる地域(河口から50km地点)よりも水量も多く、流れの様子も違っていたので、整備の必要性はよく理解できました。

- ・
- ・ 緑の回復は見られますが、景観的に個性に貧しいと感じました。
- ・ 法枠内の洗掘部を放置したままにしておかない様をお願いします。

### <是政地区について>



モニタリングで当面事業を中止しているのはよいと思います。

- ・
- ・ ワンド状の静水面があったので、残してほしいです。
- ・ 貴重な植物や昆虫が生息している地域なので、十分モニタリングを行ってほしいと感じました。
- ・ いい感じのワンドが出来ています、こういうのを残して整備してほしいと思います。
- ・ 人口も多く、利用も多いため、工事には住民の理解が求められるのではないのでしょうか。また、もっとたくさんの人に見てもらいたいと思いました。

## <下石原地区について>



かつてから高水敷幅が狭く危険だと思っていました。工事が始まったのは、住民の安全のためにはよいことです。ただし、工事内容が画一的だと感じます。生物多様性の面や子どもたちのアプローチ等にも配慮してほしいです。



工事の住民へのお知らせはどのようにしているのですか。

→ (回答)

府中市の広報誌に載せてもらいました。近隣の自治会では回覧板で回してもらいました。今後は、利用者にも周知していきたいです。



工事が進んでいますが、左岸側のみお筋を変えたところにはまだ魚もたくさんいました。工事で魚が埋められないか心配しています。

→ (回答)

漁協と協力して、救出作戦を実施する予定です。地元の有識者に意見を聞きながら環境に対して配慮していきます。

## <侵食集中対策事業について>



多摩川は整備も進み安全な川だと思っていました。パンフレットを見て「危険がいっぱい」というのに驚きました。

・ 工事後のモニタリング調査はしていますか？

→ (回答)

モニタリング調査は随時行っています。京浜河川事務所のホームページで、事業の内容と進捗状況を紹介していますが、モニタリング結果についても報告していきたいです。



どこまで河岸が削れることを許容できるかを見ながら、もう少し見守り、川に任せていくことはできないでしょうか。

→ (回答)

許容の範囲として、防護ラインを設定しています。防護ラインまでは、削れても見守ることを基本としています。



堤防を強くするために、スーパー堤防という事業があります。多摩川では考えていますか。

→ (回答)

中・下流部を中心にすすめているところです。